

# アート ギャラリー



タイトル  
「手話で『ありがとう』」  
作者 野々宮果歩 さん(新小4年)

## 町を元気に！ 日本一！ あいさつのあふれるまちづくり事業



開町120周年事業(詳細は11ページ)の1つで、青少年健全育成町民会議と、町PTA連合会と共に、あいさつ運動を実施します。

人口の動き	男	3,396人(8)	かつこ内は増減 平成22年 2月末日現在
	女	3,936人(2)	
	計	7,332人(6)	
	世帯数	3,000戸(0)	

## 募集中!!

- ・私のベストペイント(読者が描いた絵画)
  - ・私のベストショット(読者が撮影した写真)
  - ・幸せなお二人に乾杯(結婚式での2人の写真)
  - ・ハッピーバースディ(誕生日を迎える2歳、3歳のお子さんの写真)
- ハッピーバースディは、誕生月の前月15日までにご連絡ください。自宅に伺ってお子さんの写真を撮影します。
- 総務課まちづくり推進グループ(☎76-2131)

ホームページ <http://www.town.shintotsukawa.lg.jp/>  
 モバイル版ホームページ <http://www.town.shintotsukawa.lg.jp/i/shintotsu@town.shintotsukawa.lg.jp>  
 E-mail

## 目指せ!

### 町内交通死亡事故ゼロ 1500日(4月30日)にむけて明るいニュース



平成21年に町内での交通死亡事故ゼロと、町民の道内での死亡事故(第1当事者として)ゼロに、北海道知事から新十津川町に感謝状が贈られ、寺田隆政安全・安心推進協会会長が代表して受け取りました。

また、安全で快適な車社会づくりに20年間取り組んできた功績が評価されて、交通安全活動推進委員の時田荒雄さんが、警察庁長官から感謝状を受けました。

2人は「事故ゼロは1人1人の『事故を起こさない』という意識が大事。皆さんと気を引き締めて1500日、そして1日でも長くゼロの日を積み上げたい」と話していました。

## パーシュ 記

新十津川中学校で英語指導助手として働く、米国出身の青年、デビッド・パーシュ・エドワードさんのエッセイです。

今年のお正月に、友達と一緒に東京を訪ねましたが、ちょっと悲しくなる出来事がありました。多くの方は、私たち外国人にも丁寧に対応してくれたのですが、外国人だからと偏見のあることを言われたり、不愉快になる対応をされることもありました。ひどかったのは、あるお店で「外国人だから、犯罪を起こすかもしれない」と言われました。これにはとても落ち込むとともに、東京の人と新十津川町の皆さんとの違いに、とても驚きました。

新十津川町の皆さんは、外国人なのによそ者として扱わなく、いつも親切にしてくれます。温かくて偏見のない新十津川の人々が、日本の思い出の1つになります。

